

感性を磨きましょう!!

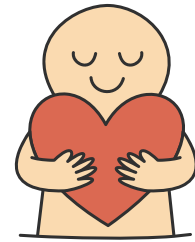
介護職員さんの新人研修等で、よく「感性を磨きましょう」という話をします。

私自身、元々感性が高いと思ったことはありませんので、自分自身も感性を磨きたいと意識をしているところもあります。78歳で仕事を続けている今、もっと対話上手になりたい、もっと能動的になりたい、もっともっと仕事を楽しみたい、生活を楽しみたい、様々なことを楽しみたいと思っています。その為には感性を磨くことが一番かなと考えています。

よくものを見もせず、経験や体感もせず勝手に判断し、あたかも分かった如く、これはああだ、こうだという方がいらっしゃいます。果たしてそれで良いのでしょうか。疑問を感じる時があります。

「感性」とは何か調べてみると、

感性＝心で感じる度合い、生まれた時から備わっているものではなく、知識や経験などの蓄積によって育んでいくもので、感性を磨くとは五感の刺激に敏感になり、周囲の情報や感情を深く感じ取る力を高めることとあります。



具体的には、知らない食べ物を食してみたり、初めての音楽を聞いてみたり、違う仕事・世界の方と接するなどから新しい刺激を受け入れたり、他人の気持ちを理解する力を養ったりすることが含まれます。感性を磨くことで、柔軟な思考や創造性が育まれ、日常生活や仕事においても豊かな体験をすることができます。

感性（感受性）を磨くと、以下のようなことが得られます。

- ・物事を色々な角度から見られる
- ・様々な人に対応できる
- ・知識が増え、引き出しが多くなる
- ・想像力が広がる
- ・創造力がつく
- ・表現が豊かになる
- ・目に見えないものを感じ取ることができる

感性を磨く為には自分の目で、耳で、口で、鼻で、足で体感する。五感（視覚・聴覚・味覚・嗅覚・触覚）をフルに使って活動することです。具体的には様々なスポーツ、芸術、美術、映画や各種イベント、プロの仕事等、出来るだけ幅広く、上質の本物を観たり聞いたり食したりすることで感動すること、そして人を感動させることの素晴らしさを知ること、と考えて行動しています。



「感性」についても一つの耳より情報も紹介します。感性を磨く事により、人はさまざまな幸せを呼び寄せる事ができるそうです。

例えば、芸術や映画、他人の立ち振る舞い等に興味を持つ事によって、他人の気持ちが理解できるようになる。他人の気持ちが理解できる人は、信頼できる友人がいたり、良い人間関係を築く事ができる。

色々な視野で物事を理解する事ができるようになると自分の得意分野も分かってきて、夢やなりたい職業も明確になるかもしれない。自分のやるべき事が明確になれば収入にも繋がります。

ハッピーを引き寄せるために、感性を磨きましょう。



CSねっと企画合同会社
代表 長嶺 堅二郎